

皮膚科学

【はじめに】

皮膚は人体を覆い外界との境をなし、生体防御の第一線として重要な役割を果たす人体最大の臓器である。かつて皮膚は単なる物理的障壁として考えられていた時期もあるが、最近では皮膚を構成する様々な細胞が全身の炎症あるいは免疫反応に深く関わっていることが示されている。また何より豊かな社会生活を送るために、健康で美しい皮膚は重要な要件である。皮膚科学はそのような役割をもつ皮膚におけるすべての異常を対象とし、内科系から外科系にわたる多岐にわたる知識と技能を求められる医学分野である。また皮膚の医学的観察はすべての臨床医学の基本であり、皮膚科学を専門としないプライマリケア医、あるいは他科診療医においても皮膚科学の基本的知識は必要不可欠である。

本実習により、臨床医として最低限必要な皮膚科学的知識を身につけるとともに、皮膚疾患に対する考え方、治療法に対する理解を深める。

【一般目標】

臨床医として必要な最低限の皮膚科学的知識を身につけ、患者およびその家族から皮膚に関する訴えを聞き取り、実際の皮膚病変から診断と治療に必要な情報を収集して他の医療スタッフに伝える力を習得する。

【行動目標】

- 1) 適切な問診により皮膚科診療に必要な情報を取捨選択して収集できる。
- 2) 発疹学に基づいて皮疹を表現し、その鑑別診断を挙げることができる。
- 3) 皮膚科領域の主要疾患の概要を説明できる。
- 4) 皮膚科領域で用いられる主要な検査について、概要を説明できる。
- 5) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 6) 症例を要約する習慣を身につける。
- 7) 担当した患者の皮膚疾患の診療に必要な知識・情報を検索・収集することができる。
- 8) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について理解できる。
- 9) 医療チームの一員として適切な身だしなみを心がけ、場面に応じ挨拶などの声かけをすることができる。

【実習の実際】

外来実習：一般的な皮膚科疾患の診断・治療を実践し基礎的な知識を身につける。

- (1) 外来初診患者について、病歴の聴取及び診察を行い、情報を整理して診療録に記載し（予診）、鑑別すべき疾患について学習する。
- (2) 予診をとった患者について、指導教員の診察を見学する。
- (3) 再診患者の診察を見学する。
- (4) 外来患者に対する検査、処置、手術の見学または補助を行う。

病棟実習：患者とのコミュニケーションのとりかた、チーム医療における医師のあり方を、実践を通して学ぶ。

- (1) 担当患者に関して主治医と行動を共にし、入院の原因となった病態を把握する。
- (2) 担当患者の検査計画・治療計画の立案を行う。
- (3) 実際に入院患者と接することで、患者の QOL も考慮した全人的な医療のあり方を学ぶ。
- (4) co-medical スタッフとの関わり方を学ぶ。

手術室実習：皮膚科・形成外科手術の実際について理解を深める。

- (1) 手洗いをし、間近で手術を見学することにより手術手技を学習する。
- (2) 術前・術後管理を主治医とともに学ぶ。

【週間(基本)スケジュール】

| | 午前 | 午後 | |
|-----|----|------------------|----------------------------------|
| 第1週 | 月 | オリエンテーション* 外来 | 病棟/検査 CC(症例検討会) (16:10 医局) |
| | 火 | 教授回診(9:15 医局) | 病棟/検査 preCC** |
| | 水 | 外来 | 手術/病棟 |
| | 木 | 外来 | 手術/病棟 |
| | 金 | 院外実習① | 病棟 手術カンファレンス |
| 第2週 | 月 | 外来 | 病棟/検査 CC** (16:10 医局) |
| | 火 | 教授回診(9:15 医局) | 病棟/検査 |
| | 水 | 外来 | 手術/病棟 縫合実習 |
| | 木 | 院外実習② | 手術/病棟 総括 |
| | 金 | 外来 | 病棟 |

第1週の月曜は 8:45 に医局セミナー室に集合。オリエンテーションののち、9:00 に皮膚科外来に移動します。

月曜が祝日の場合、火曜 9:00 に医局セミナー室集合。9:15 から教授回診に参加します。

月曜が祝日の場合、CC(症例検討会)は原則として火曜 16:30 開始です。

CC、教授回診の場所は、週により変更になる場合があります。指導医に聞いてください。

空欄の部分については、それぞれの興味や希望を考慮して計画します(例:外来実習、特殊外来実習、病棟実習、検査実習、手術実習、など)。

*オリエンテーションは実習開始日前に非対面(メール等)で実施する場合があります。

**第1週の preCC で担当症例を割り当て、第2週の CC(症例検討会)で症例提示を行います。

※実習内容は感染症流行状況、診療の状況により変更する場合があります。

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

| 評価項目 | 配点 |
|--------------------|----|
| 毎日の行動内容、授業態度 | 50 |
| 学生用カルテの記載内容 | 10 |
| ポートフォリオの記載内容 | 10 |
| 教員による試問 | 10 |
| 関連病院での行動内容、授業態度、知識 | 20 |

【担当教員】

田中 暁生 教授
菅 崇暢 講師
森桶 聡 診療講師
松尾 佳美 助教
森脇 昌哉 助教
水野 隼登 助教
斎藤 怜 助教
松原 大樹 助教
石井 香 助教

田中麻衣子 臨床教授（広島県立広島病院 皮膚科主任部長）

大塚 理紗 臨床講師（マツダ病院 皮膚科医師）